

平成25年度

第3回大分県教育委員会 会議録

日 時 平成25年4月30日 (火)  
開会10時00分 閉会12時21分

場 所 教育委員室

# 平成25年度 第3回大分県教育委員会

## 【議 事】

### 1 議 案

- 第1号議案 職員のへき地手当等の支給に関する規則の一部改正について
- 第2号議案 大分県社会教育委員の委嘱替えについて
- 第3号議案 平成25年度大分県教科書選定審議会委員の委嘱について

### 2 報 告

- ①平成25年度大分県立高等学校入学者選抜結果について
- ②平成25年度大分県立特別支援学校高等部・専攻科  
入学者選考の結果について
- ③平成25年3月公立高校新規卒業者の就職状況の推移について
- ④全国高等学校総合体育大会の準備状況について
- ⑤体罰に関する第二次調査結果について

### 3 協 議

- ①平成26年度（平成25年度実施）教員採用試験実施要項（案）について
- ⑥平成26年度（平成25年度実施）民間人校長採用選考（案）等

### 4 その他

なし

## 【内 容】

### 1 出席者

委 員	委員長	岩 崎 哲 朗
	委員長職務代理	松 田 順 子
	委員	波多野 順 代
	委員	麻 生 益 直
	委員	林 浩 昭
	教育長	野 中 信 孝

欠席委員なし

事務局	教育次長	河 野 盛 次
	教育次長	宮 脇 和 仁
	教育次長	別 木 達 彦
	教育改革・企画課長	佐 野 壽 則
	教育人事課長	藤 本 哲 弘
	教育財務・企画監	牧 敏 弘
	福利課長	大 石 尚 志
	義務教育課長	後 藤 榮 一
	生徒指導推進室長	江 藤 義
	特別支援教育課長	後 藤 みゆき
	高校教育課長	高 畑 一 郎
	社会教育課長	法 雲 淳
	人権・同和教育課長	小 池 昭 太 郎
	文化課 参事	若 林 洋
	体育保健課長	蓑 田 智 通
	全国高校総体推進局長	荒 川 孝 二
	教育改革・企画課総務企画監	秋 吉 一 徳
教育改革・企画課主幹	勝 尾 裕 美	
教育改革・企画課主査	釘 宮 隆 之	

### 2 傍聴人

17 名

## 開会・点呼

(岩崎委員長)

それでは、委員の出席確認をいたします。  
本日は、全委員が出席です。  
ただいまから、平成25年度第3回教育委員会会議を開きます。

## 署名委員指名

(岩崎委員長)

本日の会議録の署名委員でございますが、波多野委員にお願いしたい  
と思います。

## 会期の決定

(岩崎委員長)

本日の教育委員会会議は、お手元の次第のとおりであります。  
会議の終了は、12時15分を予定しています。  
よろしく申し上げます。

## 議 事

(岩崎委員長)

それでは議案の審議に移ります。  
本日の議案は3件です。

はじめに、会議は原則として公開することとなっておりますが、会議  
を公開しないことについてお諮りします。

第2号議案、第3号議案及び協議の①、②は人事に関する案件ですの  
で、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第13条第6項ただし書  
の規定により、これを公開しないことについて、委員の皆さんにお諮り  
いたします。

公開しないことに賛成の委員は挙手をお願いします。

(採 決)

それでは第2号議案、第3号議案及び協議の①、②の4件は、非公開といたします。

本日の議事進行は、はじめに公開による議案の審議及び報告等を行います、その後非公開による議事を行いますので、よろしくお願いします。

## 【議 案】

### 第1号議案 職員のへき地手当等の支給に関する規則の一部改正について

(岩崎委員長)

それでは、第1号議案「職員のへき地手当等の支給に関する規則の一部改正について」提案を求めます。

(野中教育長)

第1号議案「職員のへき地手当等の支給に関する規則の一部改正」についてご説明いたします。

第1号議案の1ページをお開きください。

この議案は、小中学校の統廃合に伴い、へき地手当等の支給対象校を削除するものです。

内容につきましては、担当課長が説明しますので、ご審議の程よろしくをお願いします。

(藤本教育人事課長)

議案の内容についてご説明いたします。

議案書4ページの「改正の概要」をご覧ください。

へき地手当等の支給対象となる学校は、この規則の別表で規定しています。

本年4月1日の小中学校の統廃合に伴い、2の表中に記載のとおり、別府市立天間小学校、日田市立都築小学校、九重町立飯田中学校の3校が廃止されましたので、これら3校について、規則の別表から削除するものです。

なお、表中の「備考」欄に記載のとおり、都築小学校と飯田中学校は、学校の統合に伴い廃止されたものですが、新設の大山小学校は、へき地非該当であった旧鎌手小学校の校舎を使用するものであり、また、ここ

のえ緑陽中学校は、町役場付近の町有地に校舎を新築したものであり、ともにへき地学校には該当しません。  
以上でございます。

(岩崎委員長)

ただいま説明のありました議案について、審議を行います。質疑・意見等のある方はお願いします。

よろしいですか。

それでは、ただ今、提案のありました第1号議案の承認について、お諮りいたします。第1号議案について、承認される委員は挙手をお願いします。

(採 決)

第1号議案については、提案どおり承認します。

## 【報 告】

- ①平成25年度大分県立高等学校入学者選抜結果について
- ②平成25年度大分県立特別支援学校高等部・専攻科入学者選考の結果について

(岩崎委員長)

次に、報告第1号「平成25年度大分県立高等学校入学者選抜結果について」及び第2号「平成25年度大分県立特別支援学校高等部・専攻科入学者選考の結果について報告をしてください。

(高畑高校教育課長)

「平成25年度大分県立高等学校入学者選抜結果」について報告をいたします。

資料はNO. 1からNO. 3の3枚です。

まず、資料のNO. 1〔全日制〕の表をご覧ください。

表の一番上の欄が平成25年度入試における結果であり、比較としてその下の欄に平成24年度入試の結果、その下の欄には増減した人数を示しています。また、項目としては、入学定員、推薦入試・連携型入試、一次入試、二次入試の順に、人数をまとめています。

平成25年度の欄を横にご覧ください。全体の入学定員は8,160人でした。

2月12・13日に実施しました推薦入試・連携型入試では、

(1) 推薦Aの募集130人以内に対して、受験者151人、合格者117人

(2) 推薦Bの募集1,029人以内に対し、受験者1,180人、合格者914人

(3) 連携型の募集240人以内に対し、受験者166人、合格者166人でした。

次に、3月12・13日に実施しました一次入試は、募集人員6,833人に対し、受験者7,384人、合格者6,535人でした。

さらに、3月21日に実施しました二次入試では、募集人員310人に対し、受験者111人、合格者88人でした。

最終合格者数は7,938人であり、合格者数が入学定員に満たない欠員の人数は222人、学校数は15校でした。

次に、同じ資料NO. 1の〔定時制〕の表をご覧ください。

推薦入試は推薦Bと爽風館特別入試で実施し、受験者110人、合格者76人

一次入試は、受験者111人、合格者82人

二次入試は、受験者34人、合格者24人

最終合格者数は、182人でした。

続きまして、資料NO. 2の「平成25年度大分県立高等学校第一次入学者選抜学力検査結果」について報告します。

上の表「学力検査点の状況」をご覧ください。

各教科の平均点、最高点、最低点を国語、社会、数学、理科、英語の順に示しています。その下の欄に「学力検査合計」がありますが、平成25年度は全体の平均が120.2点になっております。参考として、その下の欄に過去4年分の「合計平均点」を示しています。

同じ資料NO. 2の下の表「教科別学力検査点の分布状況」をご覧ください。

各教科の平均点を、前年度と今年度で比較した表になっております。

国語は-4.8点、社会は-1.3点、数学は+1.8点、理科は-5.4点、そして、英語は-1.8点となっております。

次に、資料NO. 3の「学力検査合計点の分布状況」をご覧ください。

「学力検査合計点の分布状況」につきましては、昨年度と同様に、正規分布に近い分布を示しております。

出題は、各教科の目標に即して適切となるように努めており、基礎的・基本的な内容を重視するとともに、単に記憶や知識の量を見るだけでなく、理解力、思考力、判断力、表現力等、総合的な学力が測られるよう、出題を工夫しております。

以上で、報告を終わります。

(岩崎委員長)

引き続き、後藤特別支援教育課長、報告をしてください。

(後藤特別支援教育課長)

平成25年度大分県立特別支援学校高等部・専攻科入学者選考結果について、ご報告いたします。資料4ページをご覧ください。

前期選考では182名が、後期選考では4名が受検し、全員が合格しました。

この186名の合格者数は、前年度と比較しますと18名の増加でございます。

続いて次のページをご覧ください。

特別支援学校高等部のうち、本科への進学者の推移を上段資料にまとめています。平成25年度は、高等部・本科への進学者、知的障がい校への進学者、ともに過去最多となっております。

そのうち、知的障がい特別支援学校11校の合格者が最も多いのでその内訳を出身学部・学級別に整理したものが下段の資料です。平成25年度は、中学校の特別支援学級を卒業した生徒の進学者が増加しており、これも過去最多となっております。

以上、平成25年度の県立特別支援学校高等部・専攻科入学者選考結果の報告を終わります。

(岩崎委員長)

まず、大分県立高等学校入学者選抜結果の方から、何か質疑・意見等のある方はお願いします。

(麻生委員)

合格者数と入学者数の差があるはなぜですか。

(高畑高校教育課長)

合格者数は各高校で合格発表した人数です。入学者は4月に入って入学許可を受けた人数です。その間転居等による入学辞退もあります。人数的には差が出ますが現在調査中です。

(麻生委員)

例年どれくらいですか。

(高畑高校教育課長)

具体的な数字は手元にはありません。

(岩崎委員長)

ほかに何かありますか。

(松田職務代理)

欠員数について学校の数がH24が13校、H25は15校13校は15校の中に入っていますか。違う学校が入っているのですか。

(岩崎委員長)

去年の15校に13校は入っていますか。

(高畑高校教育課長)

2年連続欠員が生じた学校は5校あります。15校の内5校は2年連続欠員が生じています。

(松田職務代理)

このような結果が出たときに去年の結果今年の結果を見てどのような努力を(アクション)をしていますか。

(高畑高校教育課長)

欠員が生じた学校については学校の方でその要因について分析してもらっています。そのあたりを本課としても学校から聴取するとともに、県下の中学校の生徒の進学動向を調査しているので、その点と併せてもう少し分析したいと考えています。

(松田職務代理)

聞いた話ですが、地域の中学校と中高連携で中学校の意欲を上げるために必死にやっているということを知りました。

(高畑高校教育課長)

入学定員を確保、定員を上回る志願者を集めた学校は中高連携で中学の教員へはもちろん中学生やその保護者に対するPR活動を行っています。その成果を定員に満たなかった学校には広めたいです。

(波多野委員)

資料の2ページ評価別学力検査点の英語について、1～9の生徒が14.3%あります。上と下に分かれています。中学から学習を始めたにもかかわらず3年間でこんなに差が出たなかで高校に入学していくと高校側もかなり大変ではないでしょうか。そのあたり義務教育課と何か話はしているのですか。

(高畑高校教育課長)

英語については満点の数も多いが10点未満の生徒も多いです。2極化の傾向があります。昨年も似たような傾向がありました。このあたりは課題であると思います。義務教育の方でも英語の取組については一生懸命にいただいていると思います。高校では中高連携の中での参観授業を行うなどの努力はしています。

(岩崎委員長)

学力について国語も英語も同じような傾向がありますか。  
義務教育課お願いします。

(後藤義務教育課長)

中学校2年生で基礎基本に関わる調査を行っていますが、英語は一昨年は偏差値50を超えましたが昨年は50を下回り英語については不安定です。細かい分布状況についても低学力の生徒、5段階のうち1段階の生徒がいるので課題として受け止めて、今取組もうとしています。小学校の外国語活動についても中学校で英語嫌いを作らないような外国語活動にしようと小学校、中学校として取組を行っています。

(岩崎委員長)

学力調査の結果を受けて、学力向上に向けて役立てようということで現場はがんばっていますが、これだけ分布がばらけていると教え方に何らかの対策が必要ではないですか。  
その対策は十分進んでいますか。

(後藤義務教育課長)

英語の学力向上支援教員や指導教諭をいただいているので、この方々に優れた授業を公開していただきながら、1年で始まった英語の授業が2年生の段階で英語嫌いにつながっていくケースもあるので、そうならないように優れた授業を実施したいです。

(高畑高校教育課長)

補足です。学力検査の結果を受けて例年分析資料を作成し、県下の高校と中学校に配布しています。その中で、今後の指導上の留意点、改善の方向性をまとめて示しています。中高の連携も含めて改善に取り組んでいます。

(岩崎委員長)

それでは特別支援学校の高等部・専攻科入学者専攻の結果について質疑・意見等のある方はお願いします。

(波多野委員)

聾学校の専攻科についてお聞きしたいのですが、工芸科、被服科といずれも0名ですが、これまでの状況と、これからどうなるのか今後の予定を聞かせてください。

(後藤特別支援教育課長)

聾学校の専攻科についてはこの後廃止となるため、募集を停止します。

(波多野委員)

わかりました。

(岩崎委員長)

他に質問のある方はいませんか。

(林委員)

国の基準にも関わることだと思いますが、募集人員が示されていますが、その数に比べて合格者数が少ないですね。基準などがあれば難しいかもしれませんが、募集する人数の変更はできるのでしょうか。

(後藤特別支援教育課長)

定員策定のための進路希望調査を、市町村の中学校及び県内の特別支援学校に対して行っています。その希望調査を受けて各学校の定員を決めています。

(林委員)

障がい者の保護者とお話をする機会があったのですが、その方の子どもは卒業して就職しています。卒業後のことを考えたとき、いつ、どこで、本人に適したものに会えるかということが大事だと考えます。特別支援学校においても卒業後に本人に適した生活ができるよう支援していただきたいと思います。

(後藤特別支援教育課長)

ご意見承りました。

(岩崎委員長)

他になければ、以上でこの件は終わります。

### ③平成25年3月公立高校新規卒業者の就職状況の推移について

(岩崎委員長)

次に、報告第3号「平成25年3月高校新規卒業者の就職状況の推移について」報告をしてください。

(高畑高校教育課長)

平成25年3月高校新規卒業者の就職状況です。内定率の推移では、3月末の内定率は98.8%、昨年より0.1ポイント上昇をしました。就職未内定者推移では、3月末時点で31人、昨年と比べて5人減となりました。こういう形の就職状況です。

この間の教育委員会の対応としましては、委員会と本課と商工労働部の連携という事でまとめております。そういうなかで内定率も期ごとに上昇してきました。

(岩崎委員長)

ただいま説明のありました報告について、質疑・意見等のある方はお願いします。

(林委員)

就職が決まらなかった人に対するフォローアップの関係はどうなっていますか。

(高畑高校教育課長)

各学校で卒業者に対するフォローは、引き続きしております。労働局の事業の中で未内定者に対する事業もありますので、紹介しながら、就職できるような取組をしていきたいです。

(岩崎委員長)

98.7%という去年の内定率は九州の中では高く全国としても高い内定率でしたが、今年はどうですか。

(高畑高校教育課長)

まだわかりません。

(岩崎委員長)

よろしいですか。

#### ④全国高等学校総合体育大会の準備状況について

(岩崎委員長)

次に、報告第4号「全国高等学校総合体育大会の準備状況について」報告をしてください。

(荒川全国高校総体推進局長)

平成25年度全国高等学校総合体育大会の準備状況について説明いたします。

準備については「総合開会式の準備」「競技大会の準備」「高校生活動」という3つのカテゴリーがあります。

まず、高校生活動についての概略ですが、現在、大会に参加する選手・監督に贈るため、手作り記念品1万2千個を特別支援学校を含む全ての高校で作製しています。生徒のアイデアによるもので、木製のビーズに竹をモチーフにしたストラップです。その他、清掃活動や広報活動等を学校単位で行っています。

総合開会式の準備については、和太鼓、マーチング、音楽等の合同練習会を月1回程度行っています。

県と市町の取り組みについては、300日、200日、100日前のイベントが終了しました。100日前については4月13日大分銀行ドームで大分トリニータ対鹿島アントラーズの試合前に行いました。また、大分駅に新しいカウントダウンボードを設置しました。

続いて、今後のスケジュールについて説明いたします。

手作り記念品づくりについては先程説明したとおりです。都道府県応援旗づくりは、47都道府県の応援の旗を会場ごとに設置するものですが、高校生の活動として、現在学校ごとに作製しています。県南の高校については競技の開催はありませんが、総合開会式設置用の旗を作製しています。

合同練習会については4月から7月まで月1回ペースで和太鼓、剣道、マーチング、音楽、マスゲーム、アナウンサーについて実施します。草花装飾については、農業関係高校で取り組んでいます。

5月1日から6月7日まで大分銀行ドームの総合開会式一般観覧者5,000人の募集を始めました。地域の人たちや中学生などいろんな方々に観覧いただきたいと思います。5月31日には県総体があり、ちょうど50日前頃となります。高校総体に出場する選手を決める貴重な大会でありイベントを行いたいと思っています。

6月28日は大会参加申込締切です。その後、総合練習会等があり、7月28日が本番となります。選手、監督観覧者等23,500人により、大分銀行ドームで開催します。大会は7月28日から8月20日まで北部九州4県で開催されますが、本県の8競技は8月7日までとなります。その間、7月26日から8月7日まで総合案内所を大分空港、大分駅、別府駅、日田駅に設置します。運営については近隣の高校、国東、国東双国校、別府鶴見丘、日田、福德学院が行います。記録センターに

については大分市内に設置し、4県の競技記録の配信を行います。近隣の  
大分西高校が運営します。

このように、大会に向けいろいろな学校が準備をしているところです。

(岩崎委員長)

何か質問・ご意見等はありませんか。

(麻生委員)

大会に何も関係しない高校はありますか。

(荒川全国高校総体推進局長)

ありません。マスゲーム等やアナウンサーとして参加する学校や高校  
生活動として広報活動、手作り記念品の作製等には全ての学校が関わっ  
ています。

総合開会式は全ての学校ではありませんが、準備には全ての学校が関  
わっています。

(波多野委員)

ボストンマラソンでテロがあり、直後の千葉県のマラソン大会では警  
備が厳重となりました。高校総体でも警備に力を入れていただきたいと  
思います。

(荒川全国高校総体推進局長)

警備については県警と連携して行うこととしており、県警にはすでに  
そのための組織ができています。総合開会式も県警と連携して進めてお  
り、IDカードがないと入れないようになっています。

(松田職務代理)

大分国体の際は、大分県の温かいおもてなしが高く評価されました。  
高校生が受け付け等を行うと思いますが、この機会を活かして高校生全  
体のマナーアップを図っていただきたいと思います。

(荒川全国高校総体推進局長)

高校生活動生徒実行委員会の高校生は、活動を通してものすごく成長  
しています。高校生全体としてはこれからになりますが、活動の際には  
委員のまわりの生徒も活動に参加しており、そのことによって成長して  
います。多くの生徒が参加する中でマナーアップが図れることを期待し  
ています。

(岩崎委員長)

よろしいですか。

## ⑤体罰に関する第二次調査結果について

(岩崎委員長)

次に、報告第5号「体罰に関する第二次調査結果について」報告をしてください。

(宮脇学校教育担当次長)

1 ページ (体罰実態調査について説明)

調査方法と対象：教職員及び児童生徒、保護者を含めたアンケート調査、1225件の事案、840件（H23年度、調査不能を除く）のうち555件を体罰と判定しました。

文部科学省報告要領に従い体罰を行った教職員の人数に置き換え370人としました。県教委及び地教委で懲戒処分とすべき重大な事案はなく、訓告等が36人、校長等による指導が334人。一次報告の13人と合わせ383人として報告しました。なお、外部指導者による体罰事案は今回の調査対象外であります。8件のうち3件が体罰でした。

2 ページ (体罰調査報告票の説明)

3 ページ (今後の具体的な対応について説明)

4 ページ (実態把握の継続について)

5 ページ (野中教育長メッセージ)

(岩崎委員長)

ただいま説明のありました報告について、質疑・意見等のある方はお願いします。

(麻生委員)

第1次報告13件は、申告であがった数ですか。

(宮脇学校教育担当次長)

この時点で県教委又は地教委が体罰で懲戒処分した数です。

(松田職務代理)

管理職等の体罰禁止研修会が予定されていますが、教職員一人一人が対応の仕方を学べる研修会にするためにカウンセリング、コーチング等を含めたものを検討してほしいです。もう一つは、日本体育大学の学長が卒業式や入学式で「教師が体罰を絶対しないように」等の発言をしましたが、ほかの教員養成系の大学でも同じような認識が必要ではないで

しょうか。

(野中教育長)

アンケートの中に「心が傷ついて納得できない」という発言がありました。子どもたちが体罰で心が傷ついていることを重く受け止めなくてはなりません。体罰によらない指導を教職員全員で行っている実践例を手本に研修を行いたいです。

(麻生委員)

先生たちが生徒指導にあたり萎縮し、メンタルが壊れるのではないかと心配です。先生方がまとまることが大切。精神的なフォローをしていきたいです。

(岩崎委員長)

調査不能とは、具体的にどういった調査状況でしたか。

(江藤生徒指導推進室長)

生徒・保護者の匿名による申告で、教員名が特定できないもの、年度を含む申告が曖昧で特定できないもの等であり、学校側も調査をしましたがこれ以上無理であると判断したものです。

(岩崎委員長)

その中に重篤なものはないですか。態様のその他、被害の状況のその他のの中に重篤なものはなかったですか。

(江藤生徒指導推進室長)

重篤なものは、ありません。態様のその他は「つねる」「はじく」等です。被害の状況のその他は、「擦過傷」「髪の毛が抜けた」等です。

(波多野委員)

小学校の比率が高いのはなぜですか。

(宮脇学校教育担当次長)

小学校の児童生徒数が多い結果ではないでしょうか、全国の状況も確認したいです

(岩崎委員長)

今回の調査で、新たに判明した状況の特徴はありますか。

(宮脇学校教育担当次長)

教員側に、この程度ならいいだろうという意識や強い指導が必要な場面で、体罰も仕方ないとの意識がありました。また、保護者との信頼関係があれば体罰も許されるとの意識が、保護者にもありましたが、今回の調査で変わりました。

(岩崎委員長)

教師側の意識と児童生徒の意識（被害者意識）の違いが明らかになったということも言えるのではないのでしょうか。

(波多野委員)

「体罰はいけない」と永年言われてきました。学校への信頼感の低下、子どもたちの変化、保護者の変化、地域の変化等を見た時に、体罰の問題を学校だけに対応を求めるのは酷だと感じます。県教委で先行研究を行い、知識をストックした上で学校での研修や学校の中での論議ができるような具体的な研修の内容を指示することが大切であります。研修も管理職や教務主任ではなく、学校での指導経験が豊富な生徒指導主任や特別活動主任等も検討してほしいです。

(野中教育長)

各学校で、保護者への報告もなされている学校もあります。保護者への報告も必要であります。

(林委員)

今回の調査で、教師による言葉の暴力（パワハラ発言）を把握していますか。

(宮脇学校教育担当次長)

言葉による暴力も調査に上がっています。30件ほどありましたが、今回の報告には上げていません。体罰ではないですが人権侵害であると認識しています。

(林委員)

「何度も忘れ物をする」ことから体罰に至ったという事例がありますが、発達障害から体罰に発展した例ではないですか。

(宮脇学校教育担当次長)

この事例が該当するかは不明です。児童生徒の個々の状況をよく理解して指導することが大切であると考えます。

(松田職務代理)

外国籍の高校生による日本の授業の感想では、授業中の私語を許さず、先生が中心の授業で面白くないという意見がありました。質問に答える形式の授業に変えていくことも含め、先生方の授業像も変化させていく必要があると感じます。

(岩崎委員長)

児童生徒が訴える気持ちに配慮するとともに先生方が体罰によらない指導を行えるよう現場に配慮しながら、体罰の根絶に向けて教育委員会が支援していきます。

(岩崎委員長)

それでは、先に非公開と決定しました案件の議事を行いますので、関係課室長のみ在室とし、その他の課室長及び傍聴人は退出してください。

2課（教育改革・企画課、社会教育課）在室

(関係課以外の課室長・傍聴人退出)

## 【議案】

### 第2号議案 大分県社会教育委員の委嘱替えについて

(岩崎委員長)

それでは、第2号議案「大分県社会教育委員の委嘱替えについて」提案を求めます。

(説明)

(岩崎委員長)

何かご意見ご質問はありませんか。

(質問、意見)

(岩崎委員長)

それでは、ただ今、提案のありました第2号議案の承認について、お諮りいたします。第2号議案について、承認される委員は挙手をお願いします。

(採 決)

第2号議案については、提案どおり承認します。

社会教育課は退出してください。

2課（教育改革・企画課、義務教育課）在室

### 第3号議案 平成25年度大分県教科書選定審議会委員の委嘱について

(岩崎委員長)

それでは、第3号議案「平成25年度大分県教科書選定審議会委員の委嘱について」提案を求めます。

(説明)

(岩崎委員長)

何かご意見ご質問はありませんか。

(質問、意見)

(岩崎委員長)

それでは、ただ今、提案のありました第3号議案の承認について、お諮りいたします。第3号議案について、承認される委員は挙手をお願いします。

(採 決)

第3号議案については、提案どおり承認します。  
義務教育課は退出してください。

## 【協 議】

### ①平成26年度（平成25年度実施）教員採用試験実施要項（案）について

(岩崎委員長)

それでは、協議の①「平成26年度教員採用試験実施要項（案）につ

いて」協議をします。

(説明)

(岩崎委員長)

質疑・意見等のある方はお願いします。

(質問・意見等)

(岩崎委員長)

それでは、今回の協議の結果を踏まえて、進めてください。

## ②平成26年度（平成25年度実施）民間人校長採用選考（案）等

(岩崎委員長)

それでは、協議の②「平成26年度民間人校長採用選考（案）等」協議をします。

(説明)

(岩崎委員長)

質疑・意見等のある方はお願いします。

(質問・意見等)

(岩崎委員長)

それでは、今回の協議の結果を踏まえて、進めてください。

(岩崎委員長)

最後にこの際、何かありましたらどうぞお願いします。

(岩崎委員長)

それでは、これで平成25年度第3回教育委員会会議を閉会します。  
お疲れ様でした。

# 平成25年度第3回大分県教育委員会会議次第

日時 平成25年4月30日(火)

10:00~12:15

場所 教育委員室

## 1 開 会

## 2 署名委員の指名

## 3 議 題

### (1) 議 案

第1号議案 職員のへき地手当等の支給に関する規則の一部改正について

第2号議案 大分県社会教育委員の委嘱替えについて

第3号議案 大平成25年度大分県教科書選定審議会委員の委嘱について

### (2) 報 告

①平成25年度大分県立高等学校入学者選抜結果について

②平成25年度大分県立特別支援学校高等部・専攻科

入学者選考の結果について

③平成25年3月公立高校新規卒業予定者の就職状況の推移について

④全国高等学校総合体育大会の準備状況について

⑤体罰に関する第二次調査結果について

### (3) 協 議

①平成26年度(平成25年度実施)教員採用試験実施要項(案)について

②平成26年度(平成25年度実施)民間人校長採用選考(案)等

### (4) その他

## 4 閉 会

第一号議案

職員のへき地手当等の支給に関する規則の一部改正について

職員のへき地手当等の支給に関する規則の一部を改正する規則を次のように定める。

平成二十五年四月三十日提出

大分県教育委員会教育長 野 中 信 孝

職員のへき地手当等の支給に関する規則の一部を改正する規則

職員のへき地手当等の支給に関する規則（平成十九年大分県教育委員会規則第十一号）の一部を次のように改正する。

別表第一の小学校の部の第二級学校の款の別府市の項を削り、同部のへき地学校に準ずる学校の款の日田市の項中「、都築小学校」を削り、同表の中学校の部の第一級学校の款の玖珠郡の項中「飯田中学校、」を削る。

附 則

この規則は、公布の日から施行する。

提案理由

小中学校の統廃合に伴い、へき地手当等の支給対象校を削除する必要があるので提案する。

○職員のへき地手当等の支給に関する規則（平成十九年大分県教育委員会規則第十一号）新旧対照表

（傍線部分は改正部分）

改正案	現行
<p>第一条～第四条（略）</p> <p>別表第一（第二条関係） 小学校の部</p> <p>第一級学校（略）</p> <p>第二級学校</p> <p>玖珠郡 准園小学校栗原分校、森中央小学校相之迫分校、日出生小学校、八幡小学校鳥屋分校、古後小学校</p> <p>中津市 永岩小学校</p> <p>日田市 津江小学校</p> <p>佐伯市 名護屋小学校、名護屋小学校森崎分校</p> <p>津久見市 越智小学校、保戸島小学校</p> <p>宇佐市 南院内小学校羽馬礼分校、院内中部小学校上院内分校、深見小学校福貴野分校</p> <p>第三級学校～第五級学校（略）</p> <p>へき地学校に準ずる学校</p> <p>別府市 朝日小学校湯山分校、東山小学校</p> <p>中津市 津民小学校</p> <p>日田市 小野小学校</p> <p>佐伯市 本匠小学校</p> <p>津久見市 長目小学校</p> <p>竹田市 菅生小学校、都野小学校</p> <p>杵築市 田原小学校</p>	<p>第一条～第四条（略）</p> <p>別表第一（第二条関係） 小学校の部</p> <p>第一級学校（略）</p> <p>第二級学校</p> <p>玖珠郡 准園小学校栗原分校、森中央小学校相之迫分校、日出生小学校、八幡小学校鳥屋分校、古後小学校</p> <p>別府市 天間小学校</p> <p>中津市 永岩小学校</p> <p>日田市 津江小学校</p> <p>佐伯市 名護屋小学校、名護屋小学校森崎分校</p> <p>津久見市 越智小学校、保戸島小学校</p> <p>宇佐市 南院内小学校羽馬礼分校、院内中部小学校上院内分校、深見小学校福貴野分校</p> <p>第三級学校～第五級学校（略）</p> <p>へき地学校に準ずる学校</p> <p>別府市 朝日小学校湯山分校、東山小学校</p> <p>中津市 津民小学校</p> <p>日田市 小野小学校、<u>都築小学校</u></p> <p>佐伯市 本匠小学校</p> <p>津久見市 長目小学校</p> <p>竹田市 菅生小学校、都野小学校</p> <p>杵築市 田原小学校</p>

<p>別表第二（第四条関係）（略）</p>	<p>別表第二（第四条関係）（略）</p>
-----------------------	-----------------------

中学校の部

第一級学校

東国東郡 姫島中学校  
速見郡 南端中学校

山浦中学校

玖珠郡 前津江中学校、五馬中学校

日田市 宇目緑豊中学校

佐伯市 直入中学校

竹田市 直入中学校

（略）

中学校の部

第一級学校

東国東郡 姫島中学校  
速見郡 南端中学校

飯田中学校、山浦中学校

玖珠郡 前津江中学校、五馬中学校

日田市 宇目緑豊中学校

佐伯市 直入中学校

竹田市 直入中学校

（略）

## 職員のへき地手当等の支給に関する規則の一部改正の概要

## 1 改正理由

小中学校の統廃合に伴い、へき地手当等の支給対象校を削除する必要があるため

## 2 改正内容

へき地手当等の支給対象校を定めた別表第1中、下表の「学校名」欄に掲げる学校（3校）を削除する。

市町村名	学校名	級地	備考
別府市	あまま 天間小学校	2級地	廃止 *平成4年4月1日から休校
日田市	つづき 都築小学校	準級地	廃止（3校を1校に統合） 大山小 鎌手小 都築小 } ⇨ 大山小（H25.4.1新設） *旧鎌手小校舎を使用
九重町	はんだ 飯田中学校	1級地	廃止（4校を1校に統合） 東飯田中 野上中 飯田中 南山田中 } ⇨ このえ緑陽中 （H25.4.1新設）

## 3 施行期日

公布の日から施行する。

【資料No. 1】

平成25年度大分県立高等学校入学者選抜実施結果

[全日制] (別府商業高校を含む)

項目 年度	入学定員	推薦入試・連携型入試				一次入試				推薦入試、 連携型入試 及び一次入 試合格者数			二次入試			最終 合格者数	欠員数 (学校数)	
		種別	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	募集人員			志願者数
25年度	8,160	推薦A	130	152	151	117	6,833	7,545	7,384	6,535	7,850	310	118	111	88	7,938	222 (15校)	
		推薦B	1,029	1,181	1,180	914												
		連携型	240	166	166	166												
24年度	8,320	推薦A	130	127	127	99	7,015	7,848	7,676	6,694	7,981	339	198	196	142	8,123	197 (13校)	
		推薦B	1,055	1,154	1,153	911												
		連携型	280	161	159	159												
増減	△ 160	推薦A	0	25	24	18	△ 182	△ 303	△ 292	△ 159	△ 131	△ 29	△ 80	△ 85	△ 54	△ 185	25 (2校)	
		推薦B	△ 26	27	27	3												
		連携型	△ 40	5	7	7												

※ 推薦入試、連携型入試及び一次入試合格者数Jには、併設型中高一貫教育による内進生を含む。

※ 推薦A：3校4学科(別府羽衣台高校：外国語科、大分舞鶴高校：理数科、芸術緑丘高校：音楽科・美術科)で実施。

推薦B：推薦A実施学科以外の42校(本校39、分校3)で実施。

連携型：安心院高校と由布高校で実施。

[定時制]

項目 年度	入学定員	推薦入試				一次入試				推薦入試 及び一次入 試合格者数			二次入試			最終 合格者数	欠員数 (学校数)
		種別	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	募集人員		
25年度	440 (396)	推薦B	24	1	1	1	320	127	111	82	158	238	35	34	24	182	214 (4校)
		特別入試	98	116	109	75											
24年度	440 (396)	推薦B	24	4	4	3	313	133	126	91	174	222	31	31	27	201	195 (4校)
		特別入試	98	112	110	80											
増減	0	推薦B	0	△ 3	△ 3	△ 2	7	△ 6	△ 15	△ 9	△ 16	16	4	3	△ 3	△ 19	19
		特別入試	0	4	△ 1	△ 5											

※ 入学定員欄の( )は、美風館高校の秋季募集人員及び春季転編入学者試験の募集人員を除いた数。

※ 推薦B：1校(日田)で実施。

特別入試：美風館高校で実施。

## 平成25年度 大分県立高等学校第一次入学者選抜学力検査結果

### ○ 学力検査点等の状況

		平均点	最高点	最低点
教科	国語	21.8 点	46 点	0 点
	社会	26.6 点	50 点	0 点
	数学	25.2 点	50 点	0 点
	理科	21.6 点	50 点	0 点
	英語	25.0 点	50 点	0 点
学力検査 合計		120.2 点	238 点	10 点
参考	平成24年度 学力検査合計平均点	132.0 点		
	平成23年度 学力検査合計平均点	120.8 点		
	平成22年度 学力検査合計平均点	119.3 点		
	平成21年度 学力検査合計平均点	124.3 点		

### ○ 教科別学力検査点の分布状況

得点 教科	得点							年度	平均点	前年 との差	最高点	最低点
	50	49～40	39～30	29～20	19～10	9～1	0					
国語	0	104	1322	3065	2439	558	4	平成25	21.8	-4.8	46	0
	(0.0)	(1.4)	(17.6)	(40.9)	(32.6)	(7.4)	(0.1)	平成24	26.6		49	0
社会	12	973	2099	2305	1703	398	2	平成25	26.6	-1.3	50	0
	(0.2)	(13.0)	(28.0)	(30.8)	(22.7)	(5.3)	(0.0)	平成24	27.9		50	0
数学	5	288	2334	2999	1385	461	20	平成25	25.2	1.8	50	0
	(0.1)	(3.8)	(31.2)	(40.0)	(18.5)	(6.2)	(0.3)	平成24	23.4		48	0
理科	2	321	1286	2423	2721	717	4	平成25	21.6	-5.4	50	0
	(0.0)	(4.3)	(17.2)	(32.4)	(36.4)	(9.6)	(0.1)	平成24	27.0		50	1
英語	46	1354	1474	1639	1879	1069	13	平成25	25.0	-1.8	50	0
	(0.6)	(18.1)	(19.7)	(21.9)	(25.1)	(14.3)	(0.2)	平成24	26.8		50	0

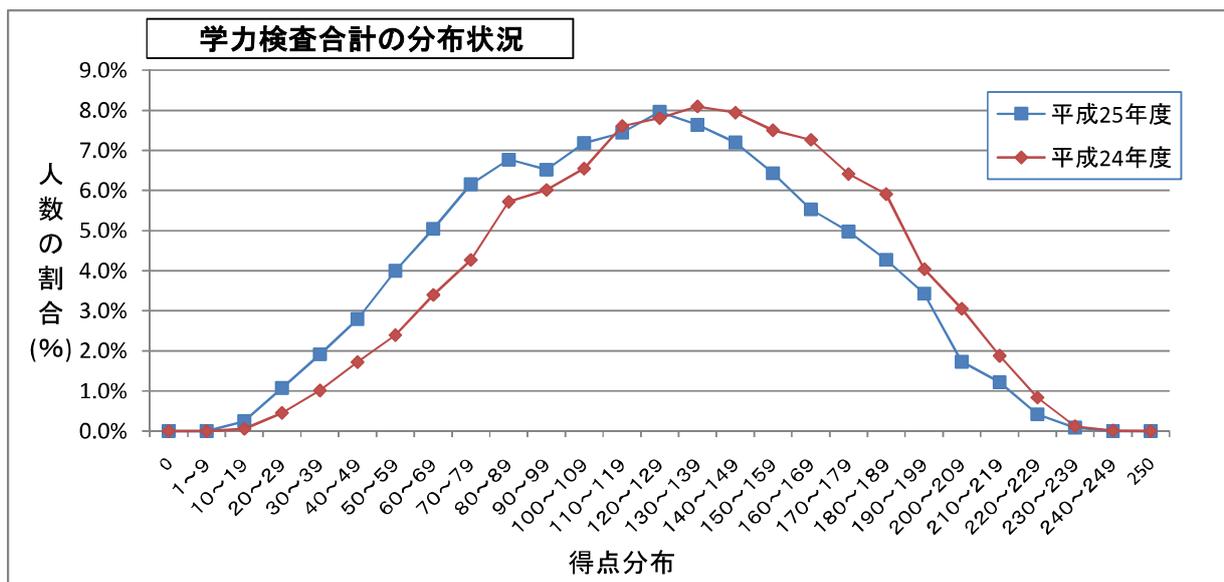
( )内は割合 (%)

平成25年度 大分県立高等学校第一次入学者選抜学力検査結果

○ 学力検査合計点の分布状況

得点	合計		累計	
	人数	%	人数	%
250				
249 ~ 240				
239 ~ 230	6	0.1%	6	0.1%
229 ~ 220	31	0.4%	37	0.5%
219 ~ 210	91	1.2%	128	1.7%
209 ~ 200	129	1.7%	257	3.4%
199 ~ 190	256	3.4%	513	6.9%
189 ~ 180	319	4.3%	832	11.1%
179 ~ 170	372	5.0%	1,204	16.1%
169 ~ 160	413	5.5%	1,617	21.6%
159 ~ 150	481	6.4%	2,098	28.1%
149 ~ 140	538	7.2%	2,636	35.3%
139 ~ 130	571	7.6%	3,207	42.9%
129 ~ 120	595	8.0%	3,802	50.9%
119 ~ 110	556	7.4%	4,358	58.3%
109 ~ 100	537	7.2%	4,895	65.5%
99 ~ 90	487	6.5%	5,382	72.0%
89 ~ 80	506	6.8%	5,888	78.8%
79 ~ 70	460	6.2%	6,348	84.9%
69 ~ 60	377	5.0%	6,725	90.0%
59 ~ 50	299	4.0%	7,024	94.0%
49 ~ 40	209	2.8%	7,233	96.8%
39 ~ 30	143	1.9%	7,376	98.7%
29 ~ 20	80	1.1%	7,456	99.8%
19 ~ 10	18	0.2%	7,474	100.0%
9 ~ 1				
0				
合計	7,474			

\* 合計人数 (7,474人) は、5教科を受験した人数である。



## 平成25年度 大分県立特別支援学校高等部・専攻科（前期及び後期）入学者選考結果

		学 科 ・ 学 級		募集人員	前期選考 合格者数	後期選考 合格者数	合格者数 合 計	
視覚障がい	盲学校	本 科	普通科	重複障がい	3	1	0	1
				単一障がい	8	2	0	2
		専攻科	保健医療科		8	1	0	1
			理 療 科		8	1	2	3
	小 計				27	5	2	7
聴覚障がい	聾学校	本 科	普通科	重複障がい	6	2	0	2
				単一障がい	8	1	0	1
				産業技術科	8	1	0	1
		専攻科	工 芸 科		8	0	0	0
			被 服 科		8	0	0	0
			理 容 科		8	2	0	2
	小 計				46	6	0	6
肢体 不自由 病弱	別府支援学校	普 通 科	重複障がい	6	6	0	6	
			単一障がい（肢体不自由）	8	3	0	3	
			単一障がい（病弱）	16	8	0	8	
	小 計				30	17	0	17
肢体 不自由	別府支援学校鶴見校	普 通 科	重複障がい	6	5	0	5	
			単一障がい	8	0	0	0	
小 計				14	5	0	5	
病弱	別府支援学校石垣原校	普 通 科	重複障がい	9	4	0	4	
			単一障がい	8	0	0	0	
	小 計				17	4	0	4
知的障がい	宇佐支援学校	普 通 科	生活教養科	6	4	0	4	
			職業生活科	24	12	1	13	
	宇佐支援学校中津校	普 通 科	生活教養科	3	1	0	1	
			職業生活科	16	11	0	11	
	南石垣支援学校	本 校	普 通 科	生活教養科	6	3	0	3
				職業生活科	16	5	0	5
		日出分教室	普 通 科	生活教養科	3	0	0	0
				職業生活科	24	10	0	10
	新生支援学校	本 校	普 通 科	生活教養科	9	7	0	7
				職業生活科	32	21	0	21
		由布分教室	普 通 科	生活教養科	3	1	0	1
				職業生活科	8	3	0	3
				生活教養科	6	3	0	3
	大分支援学校		普 通 科	職業生活科	32	18	0	18
				生活教養科	3	1	0	1
	白杵支援学校	本 校	普 通 科	職業生活科	32	19	1	20
				生活教養科	3	0	0	0
		佐伯分教室	普 通 科	職業生活科	24	14	0	14
				生活教養科	3	1	0	1
		竹田分教室	普 通 科	職業生活科	8	2	0	2
				生活教養科	3	1	0	1
日田支援学校		普 通 科	職業生活科	16	8	0	8	
			生活教養科	3	1	0	1	
小 計				280	145	2	147	
合 計				414	182	4	186	

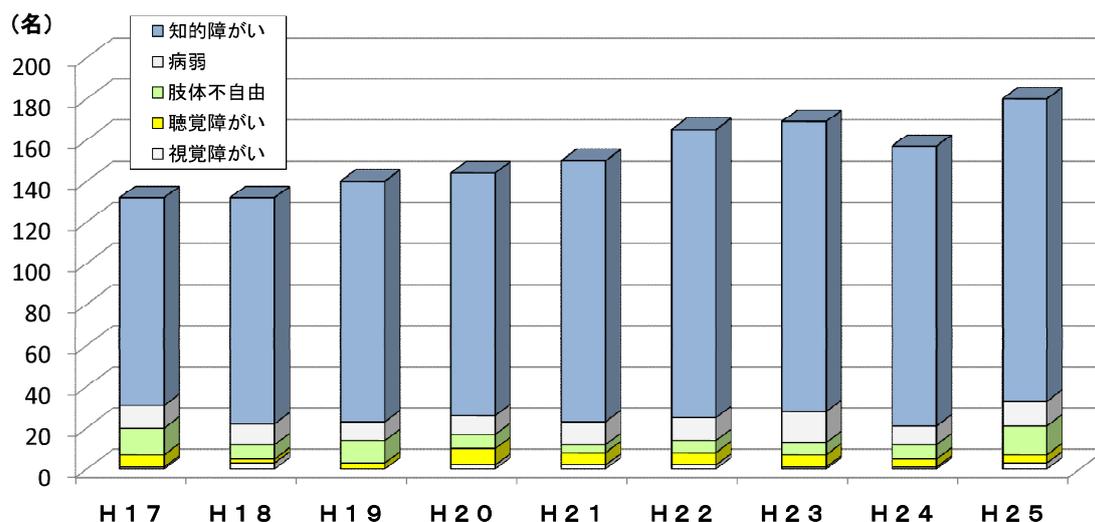
※ 高等部訪問教育については、平成25年度入学者なし。

※ 宇佐支援学校中津校は、平成25年度4月より「中津支援学校」として新設。

※ 日出、由布、佐伯、竹田の各支援学校に設置する高等部分教室は、平成25年度4月より日出、由布、佐伯、竹田の各校高等部として設置。

## 特別支援学校高等部（本科）への進学者の推移

～ 特別支援学校中学部及び公立中学校の卒業生 ～

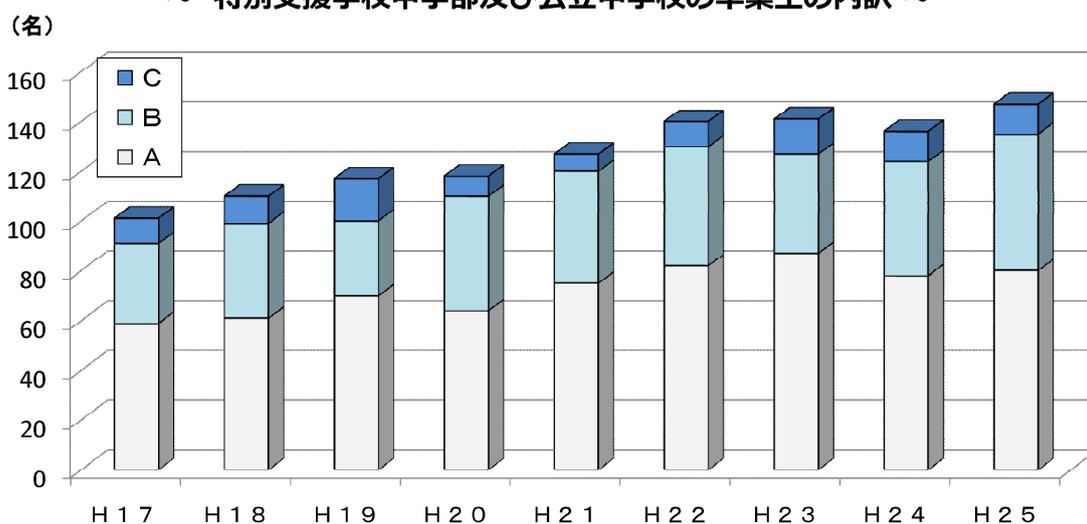


	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
視覚障がい	1	3	0	2	2	2	1	1	3
聴覚障がい	6	2	3	8	6	6	6	4	4
肢体不自由	13	7	11	7	4	6	6	7	14
病弱	11	10	9	9	11	11	15	9	12
知的障がい	101	110	117	118	127	140	141	136	147
計	132	132	140	144	150	165	169	157	180

平成25年度・・・高等部（本科）への進学者、知的障がい校への進学者ともに過去最多

## 知的障がい特別支援学校高等部への進学者の推移

～ 特別支援学校中学部及び公立中学校の卒業生の内訳 ～



入学前の在籍 \ 年度	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
特別支援学校中学部 (A)	59	61	70	64	75	82	87	78	80
中学校	特別支援学級 (B)	32	38	30	46	45	48	40	46
	通常の学級 (C)	10	11	17	8	7	10	14	12
計	101	110	117	118	127	140	141	136	147

平成25年度・・・中学校の特別支援学級を卒業した生徒の進学者が増加

平成25年3月公立高校新規卒業予定者の就職状況の推移について

高校教育課

1 就職内定率推移(月別)  
(単位:%)

月	9月末	10月末	11月末	12月末	1月末	2月末	3月末
年卒							
平成25年3月卒 (A)	39.5	70.8	81.1	87.2	90.6	95.9	98.8
平成24年3月卒 (B)	42.8	68.3	76.6	84.8	89.2	94.9	98.7
対前年比較 (A)-(B)	▲ 3.3	2.5	4.5	2.4	1.4	1.0	0.1

2 就職未内定者推移(月別)  
(単位:人)

月	9月末	10月末	11月末	12月末	1月末	2月末	3月末
年卒							
平成25年3月卒 (A)	1,734	817	522	350	255	112	31
平成24年3月卒 (B)	1,682	914	670	430	303	140	36
対前年比較 (A)-(B)	52	▲ 97	▲ 148	▲ 80	▲ 48	▲ 28	▲ 5

(大分労働局データによる)

【教育委員会の対応】

- ①県内企業と高校の情報交換会：5月実施
- ②経済5団体への求人枠確保の要請（教育長、商工労働部長、大分労働局職業安定部長）：6月，11月実施
- ③高校生向け企業説明会（元気おおい就職博）：7月実施
- ④高校生のための就職面接会（第1回目/11月実施，第2回目/1月実施）
- ⑤県教育委員会の学校訪問（現状把握、今後の取組等の指導）：11月，1月に実施

# 平成25年度全国高等学校総合体育大会 ～「未来をつなぐ北部九州総体」の準備状況～

全国高校総体推進局

## 1. 高校生活動（高校生実行委員会等）の取組み

○県高校生活動実行委員会（代表19校）

これまで6回開催しました。



○「めじろん」SOUTAI鳥就任

地域イベントでも活躍しています。



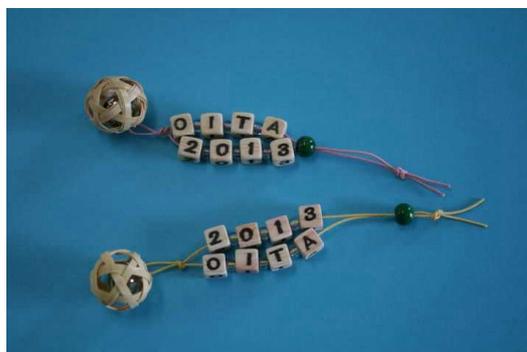
○トキハ前での広報活動

実行委員会のあとは必ず実施しました。



○手作り記念品（12,000個作製）

県内全学校で手分けして作製しています。



○清掃活動（溝部学園）

清掃活動も実施しました。



○中津駅での啓発活動

中津北高、中津南校合同の活動でした。



## 2. 総合開会式に向けた取組み

### ○和太鼓練習会

本番は、野津、安心院、楊志館合同です。



### ○音楽（合唱・吹奏楽）合同練習会

12校の合同練習会です。



### ○マーチング合同練習会

7校の合同練習会です。



### ○剣道演技練習会

楊志館高校300名による演技です。



### ○マ스ゲーム合同練習会

県南地区4校の合同練習会です。



### ○アナウンサー研修会

6月の最終選考で8名が決定します。



### ○草花装飾

8校が栽培、プランターづくりに取り組んでいます。



### 3. 県・市町実行委員会の取組み

○県実行委員会

これまで4回開催しました。



○入賞メダル

4県で共同作製しました。



○カウントダウンイベント（300日前）

ガレリア竹町で開催しました。



○カウントダウンイベント（200日前）

大分高校書道部とコラボしました。



○カウントダウンイベント（100日前）

大分銀行ドームで開催しました。



○カウントダウンボード

100日前イベントで大分駅に設置しました。



○啓発グッズ 広く県民の皆さんにPRしています。



## 4. 今後の主要スケジュール

- 4月～6月・・・・・・・・・・手作り記念品づくり（全校）  
都道府県応援旗づくり（59校）
- 4月13日、21日・・・・・・・・100日前イベント（大銀ドーム、大分駅）
  - ・大分上野丘、大分工業、大分西、大分鶴崎、鶴崎工業、野津、安心院東明、大分、楊志館
- 4月～7月・・・・・・・・・・総合開会式演技等合同練習会
  - ・和太鼓・剣道：4/13、6/6・・・野津、安心院、楊志館
  - ・マーチング：4/20、5/18、6/15・・・大分商業、大分西、佐伯豊南、日田林工、別府商業、大分東明、昭和学園
  - ・音楽：4/21、5/26・・・大分上野丘、大分舞鶴、大分雄城台、大分南、大分豊府、芸術緑丘、大分西、大分鶴崎、竹田、日田、大分東明、大分
  - ・マスゲーム：5/8、6/18、7/9・・・臼杵、臼杵商業、津久見、佐伯鶴城
  - ・アナウンサー：4月・5月・7月各1回、6月最終選考・・・別府鶴見丘、大分上野丘、大分舞鶴、大分雄城台、大分南、大分豊府、大分西、大分東、佐伯鶴城、三重総合、大分
  - ・草花装飾：栽培の実施・・・国東、山香農業、佐伯鶴岡、三重総合、三重総合久住校、玖珠農業、日田林工、宇佐産業科学
- 5月24日・・・・・・・・・・第5回県実行委員会
- 5月1日～6月7日・・・・総合開会式一般観覧者募集
  - ・5,000名を募集
- 5月31日～・・・・・・・・・・高校県体
  - ・50日前イベントを併せて実施
- 6月28日・・・・・・・・・・大会参加申込み締め切り
- 6月・・・・・・・・・・大会要員最終編成（学校ごと）
- 6月～・・・・・・・・・・総合開会式運営、競技運営説明会等の開催
  - ・運営マニュアルの説明
- 7月20日・・・・・・・・・・総合練習会（43校）
- 7月21日・・・・・・・・・・総合リハーサル（43校）
- 7月27日・・・・・・・・・・前日設営
  - ・草花装飾（8校）、県生徒実行委員会委員（19校）
- 7月28日・・・・・・・・・・総合開会式（50校）
  - ・運営役員・補助員・出演者・観覧者等で13,500人参加（総参加者23,500人）
- 7月28日～8月20日・・・・種目別競技大会（大分県は8月7日まで）（68校）
  - ・運営役員・補助員で5,000人参加
- 7月26日～8月7日・・・・総合案内所開設
  - ・国東、国東双国校、別府鶴見丘、日田、福德学院
- 7月28日～8月11日・・・・記録センター開設
  - ・大分西